

令和元年度 沖縄県における旅行・観光の経済波及効果【推計結果】

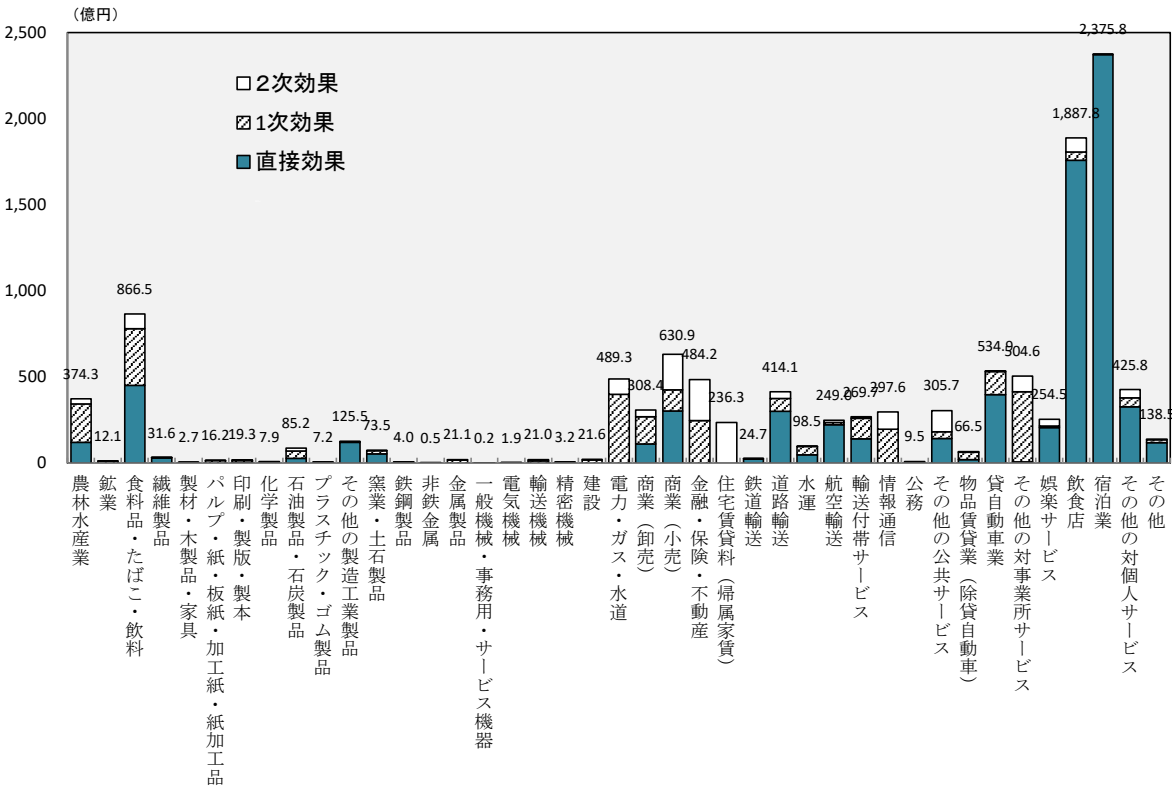
○経済波及効果（生産誘発額）	1兆1,701億7,100万円
（対前回調査（H29）年度比 +0.0%、 +1億8,600万円）	
○付加価値誘発効果	5,890億4,900万円
（対前回調査（H29）年度比 +2.7%、 +154億5,900万円）	
○雇用誘発効果	153,574人
（対前回調査（H29）年度比 +7.6%、 +10,840人）	

1. 前回調査との比較 （単位：百万円）

	H29年度	R1年度	前回調査との比較	
			差異	増減比
旅行・観光消費額	779,334	797,023	17,689	2.3%
県内客	81,414	92,274	10,860	13.3%
県外客	497,883	537,277	39,394	7.9%
国外客	200,037	167,472	▲ 32,565	▲16.3%
経済波及効果	1,153,644	1,170,171	16,527	1.4%
付加価値誘発効果	578,608	589,049	10,441	1.8%
雇用誘発効果	149,975 人	153,574 人	3,599	2.4%
誘発倍率 （経済波及効果/観光消費額）	1.48 倍	1.47 倍	▲ 0.01	-

※H29年度及びR1年度の経済波及効果は、平成27年度産業連関表を用いて推計

2. 産業別波及効果



県内への経済波及効果

1兆1,702億円

(直接効果＋1次間接波及効果＋2次間接波及効果)

旅行・観光消費額 7,970億円

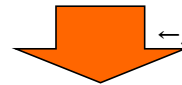
(県外客5,373億円＋外国客1,675億円＋県民923億円)



直接効果 7,312億円

観光客の消費のうち県内観光産業に残るお金

県外への漏出
658億円



←産業連関表を用いた分析

1次間接波及効果 2,844億円

観光産業と関連のある産業の売上増加など



2次間接波及効果 1,546億円

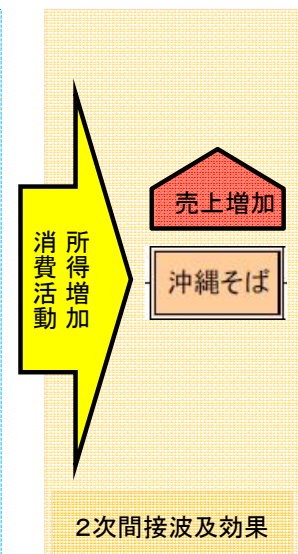
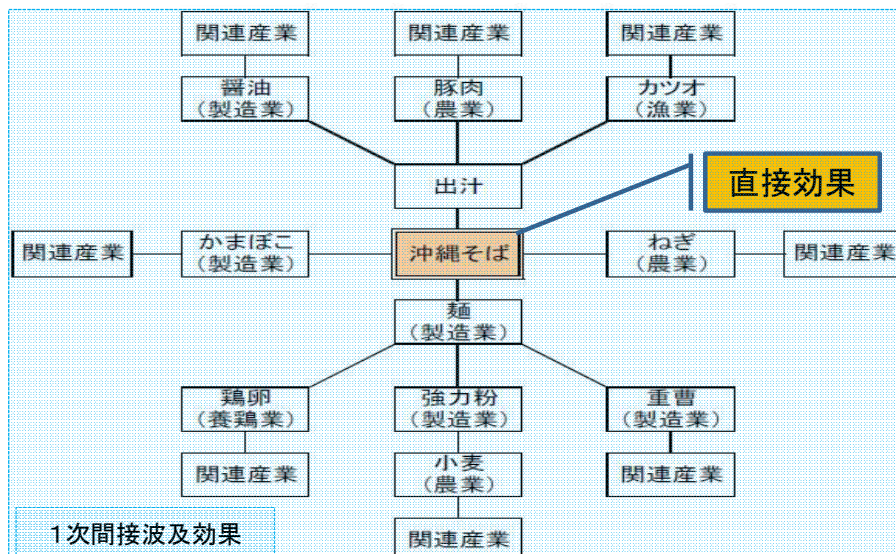
雇用者所得の増加による消費活動の活発化から、更なる県内産業の生産増加

雇用効果

直接効果、1次・2次間接波及効果により、創出された雇用効果

153,574人

■ 経済波及効果における直接効果・間接波及効果の概要図



■ 沖縄県内での観光消費にかかる経済波及効果分析のフロー図(令和元年度版)

